

うえずと老上

令和4年度を振り返り、新年度において

老上西学区まちづくり協議会

会長 伊庭 健治

日頃より、まちづくり協議会の活動にご理解・ご協力いただき有難うございます。今年度は昨年度と同様、コロナウイルス感染症の流行に始まり、収束の兆しが見えないまま、一年が過ぎ去ったように思います。

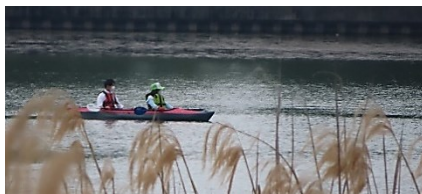
この様な中、まちづくり協議会では、感染症対策を考慮した中で、事業の実施を行うべく検討を重ねてきましたが、メイン事業である「ふれあいスポーツ大会」については中止、「敬老会」については台風のため中止せざるを得ませんでした。

「ふれあい音楽まつり」は規模を縮小した中で実施することが出来ましたが、来年度は以前の様に皆さんが参加頂ける活気ある様々な事業を実施出来ることを願っております。

「防災訓練」については、どの様な状況下でも災害が発生する可能性があるため、町内会等の協力を得て、実施させていただきました。防災に係る事業は今後も継続して行きたいと思っております。

また、今年度は老上西学区の「地域再生計画」の策定に取り掛かり、帰帆島及び中間水路を地域の資源とした、具体的な将来のアイデアをまとめていただきました。このアイデアをベースに今後さらに検討を重ね、実現の可能性を探って行きたいと思っております。

私たちまちづくり協議会は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という考えのもと、お互い助け合いながら、安心・安全に暮らし続けられるまちづくりを目指します。皆様方のご支援・ご協力をお願い致します。



地域再生計画関連 帰帆島中間水路利活用実証実験:矢橋港カヌー体験より

予定とお知らせ

お問い合わせはまちづくりセンターまで

3月6日 **月** 10:30~
 やすらぎ学級 お楽しみ会
 ミュージックバル・トーンチャイム
 コンサート

4月21日 **金** 19:30~
 老上西学区
 まちづくり協議会評議員会

やすらぎ学級
 受講生募集
 高齢者の仲間づくり
 や生きがいづくりを
 目的に、60歳以上の
 方を対象に5年度も
 開講します。
 講座とサークルに参
 加できます。
 詳しくは募集チラシ
 をご覧下さい。

わんぱくプラザ老上西
 会員募集
 わくわくイベントがたくさん
 あります。楽しみましょう。

老上西フリーファーマーズ
 貸農園利用者募集

菊を育てる会
 会員募集
 大輪の菊を咲かせましょう

4月25日 **火** 19:30~
 老上西学区
 社会福祉協議会 総会



編集・発行

老上西学区まちづくり協議会
 (老上西まちづくりセンター内)

〒525-0066 草津市矢橋町 526 番地 1 TEL:565-1995 FAX:565-2000

URL http://www.machikyou.jp/oikami_nishi/

E-mail:oinishi@machikyou.jp



老上西学区 1月31日現在
 人口 8,643人(-26)
 世帯数 3,396世帯(-3)
 (令和4年10月31日との比較)



福祉のページ

令和4年度を振り返り、令和5年度にむけて

老上西学区社会福祉協議会
会長 服部 勝義

日本はこの3年の間、通常とは異なる厳しい状況の中でありました。令和4年度は、「withコロナ」をかかえて工夫をしながら福祉活動を続けていただきました学区内の各種団体の皆様に感謝申し上げます。

また、人と人とのつながりが一層希薄化するなか、地域の絆をつなぎとめる重要な役割を果たしていただいております。人が人を支える福祉の取り組みは地域を支えることにほかならず、この間の皆様方のご努力に重ねて御礼を申し上げます。

しかし、皆様の努力により多くの方々が救われる一方で、少子高齢化が一層進行する中、高齢者世帯の増加、認知症、子育てに悩む方、児童や高齢者の地域での孤立など様々な課題が顕在化しています。

これらの課題の解決に向けて、本会では様々な取り組みを行っています。特に、一昨年から活動開始したボランティアグループ『たすけ愛隊ママの手』では、気軽に参加できて、気軽にお話ができる居場所としてのサロン「おいにいずカフェ」、子どもたちも気軽に参加できる地域食堂「にこにこ食堂」の活動にも全力で支援を行っております。

また、老上西学区まちづくり協議会や各種団体と連携し、地域での居場所づくりとしての「子育てサロン」への支援を行っております。

昨年11月には、鳩ヶ森町・よし池町地先を会場にして「地域安心声掛け訓練」を実施いたしました。高齢者が安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。老上・老上西の合同事業として「地域支え合い運送事業」も活動を続けております。

令和5年度も児童や高齢者をはじめ、地域の皆様が安心して共に暮らせるまちづくりのため、地域福祉の推進に努めてまいりますので、皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、昨年末、永年にわたり社会福祉活動にご尽力をいただいております小川 正さんが急逝されました。謹んでお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。合掌



賛助会員加入のお礼

令和4年11月から12月に老上西学区内の企業の皆様に社協賛助会員の募集と協力をお願い致しました。

16社から合計165,000円賛助会費をいただきました。

また、思いやりの募金箱を5カ所設置しました所、多くのご協力をいただきました。

社会福祉活動の貴重な財源として大切に活用させていただきます。



追悼

老上西学区まちづくり協議会副会長 福祉部会長 小川 正さんを偲んで

小川 正さん、今、私はあなたにお別れを告げようとしています。昨年12月26日に電話でお話した時は、あんなに元気だったのに…。2日後の12月28日に突然78歳で帰らぬ人になろうとは誰が予想できたでしょうか。

振り返ってみれば小川さんと私の出会いは、老上学区福祉委員会でした。私が町内の福祉委員代表者として会議や行事に参加したことが始まりでした。老上西学区になってからは、福祉委員の本部役員や民生委員として一緒に活動してきました。コロナ禍になってからは思うように活動が出来なくなった事もありましたが、「出来る事を見つけて活動したらいいよ」と言って下さいました。また、小川さんにはいろいろな事を教えていただいたり、たくさんの人を私に紹介してくださいました。私にとっては大切な宝物です。

小川 正さん、どうぞ安らかに眠りください。そして、空の上から私達の活動を見守ってください。今まで本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りします。

老上西学区社会福祉委員会 林 由香理

脳活クイズ

【問題】

なんと読むのでしょうか？

A: 東雲 「夜明けの空が東方から徐々に明るんでゆく頃」を表す古語

B: 土竜 「地面を掘った跡のトンネル部分が竜のように見えることで名づけられた」

今回の答えは、紙面のどこかにあるよ！





うえすと老上 こ～んなひと

人に恵まれ人生最高 ヨッシャ

東新浜町 本郷 高敏さん



人生一人で生きていくためには自分の力で生きていかなければならない。60歳定年の時代に、このさき生活に苦勞しないために「身につく技術の仕事をしなさい」と親から言われた。

50歳の年に退職、一念発起し脚立・小道具があればできる仕事として、何度も夢にみた植木剪定の職人を目指した。

当時の親方(師匠)に出会って「腕をくれ」(事をなす技量を教えて欲しい)と話し、親方からは「3年我慢しろ」(石の上にも3年)と言われ、会社仕事の傍ら毎週土日に修行に通った。因みに親方は年下であった。親方から剪定のコツを習い、背中を見て仕事を覚えた懐かしい時代がありました。

お客さんからは親方と間違われることもしばしば。親方から「ワシの足下に座るな、横に座れ」と怒られる事も。コツコツと植木と向き合って20数年、庭木のお客さんとの付き合いも多くなり、信頼関係も出来今では剪定の時期はこちらが予定を立てて手入れをする事になっている。

年を重ねた数年前からは、孫の通学路の見守りをする程にすこし余裕も出来て地域の子供達の通学安全に関心が行く様になった。見守り時の黄色い防犯ベストは地域から配布された物であるが、赤色誘導棒は近所の通学路で警備をされていた年配の方が、「お使いになりませんか」とお古をいただいて大切にに使わせていただいています。朝の5分程であるが、危ないと思うこともある。最近では歩道のない、通学路なのに、道幅狭いにも関わらず騒音と共に車のスピードを出して通り過ぎる大人に腹立たしく思う事が多くなり、腹立つ日々の連続である。交番のお巡りさんに巡回を直談判に行こうと発奮し、お願いした事もあった。

話が横道に大きくそれました。「春に向けた植木の剪定」ですが、この時期(3月)剪定は終わっています。今は、植木が眠っていますから、今の間に木の周りを綺麗にして肥料を与えてあげてください。それ以外に「春にすることは無」です。おかげ様で植木剪定の職人として充実した毎日を送らせていただいています。人に恵まれた職人人生であり今は最高の日々です。ヨッシャ。

わんぱくプラザ老上西



老上西小学校

新春書初め大会

HOP! HOP! 跳

令和4年度の子供たちの姿を振り返って

老上西小学校長 京近 武史

新年1月7日(土)、地域協働学校とわんぱくプラザ老上西共催の「新春書初め大会」が開催されました。

コロナ禍4年目でしたが、小学校体育館には子ども50名、一般20名の参加者が集まりました。

今年も草川薫人先生の書道パフォーマンスで干支にちなんだ「跳」を大筆で書かれ、続いて2人の子供が今年の目標を書き添えました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染が広がり始めて3年目の年でした。コロナ禍でも学びは止めないという方針で、地域や保護者の皆様のご協力を得ながら工夫して学校教育活動を進めてきました。

5年生では、地域の農業合校の方にお世話いただき、米づくりを学習しました。田植えや稲刈りの両方を3年ぶりに子どもたちが体験することができました。3年生は、学区探検の学習で地域の方に現地でお話を聞くことができました。運動会では、他学年の演技を直接見学したり、高学年による応援を実施したりすることができました。

6年生は、自分たちで作った信楽焼の茶器で、お家の方を招待しお茶会を開催しました。始業式や終業式など全校で集まる行事は教室でオンラインで行っています。

コロナ禍で様々な制限がありますが、子どもたちが学習に一生懸命取り組む姿や元気な姿がたくさん見られた令和4年度でした。ご協力ありがとうございました。





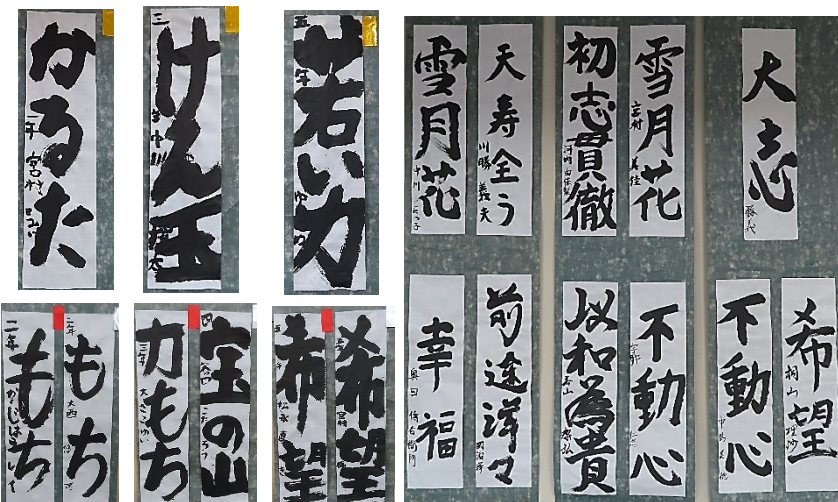
まちの小さな美術館



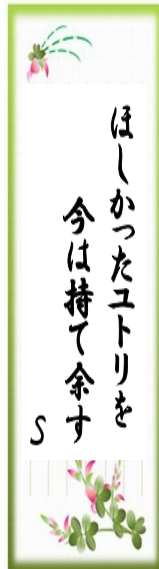
12月、1月:小さな動物たち・籠バッグ:橋岡町 岸本 和代さん



1月、2月:書初め



老西川柳



開店予定日

3月1日 手作りお弁当

ハンドベルの演奏

募集しています

老上西まちづくり協議会(まちづくりセンター)では、老西川柳を募集しています。年4回発行のうえすと老上に、あなたの一句をお待ちしております。掲載は匿名でもOKです。まちづくりセンターまでお持ちください。まちの小さな美術館では、絵画・書画・陶芸・刺繍・切り絵・折り紙・竹細工・彫刻・創作小物・アクセサリ・人形・絵手紙・服飾・ホビーなどを広く募集しております。ジャンルを問いませんので、応募、ご紹介をお待ちしています。詳しくは老上西まちづくりセンターまでお問合せ下さい。

私の一文字

琵琶湖くじら保育園 園長 谷口 真紀さん

友だちと共に育ち合う子どもたちを保護者の皆さま、地域の皆さまと共に守り育ていきたいと考えています。



ひびぎっかん 日々雑感

ラジオをよく聞く。人にはラジオ脳とテレビ脳があるらしい。差し詰め私はラジオ脳だと思う。リアルタイムで情報がいり、まさに雑学の元である。東日本大震災の時は、強い地震と津波警報が出たと叫ぶようなアナウンサーの音が、今も印象に残っている。また、安倍さんの時は演説中に倒れたと一報、熱中症で体調を崩された？それが……。民放はコマーシャルが耳障りで、もっぱらNHK、中でも面白いのは耳で聴く短編小説や半七捕り物帳 etc…。聞き入ると手も止まる。家事をしていても耳は空いていると聞き始めて、まさか数十年も聞いているとは想像だにできなかった。まあ一度ラジオから流れる音楽etc…。聴いてみては如何？ この面白さにはまること間違いなしである。(TH)